

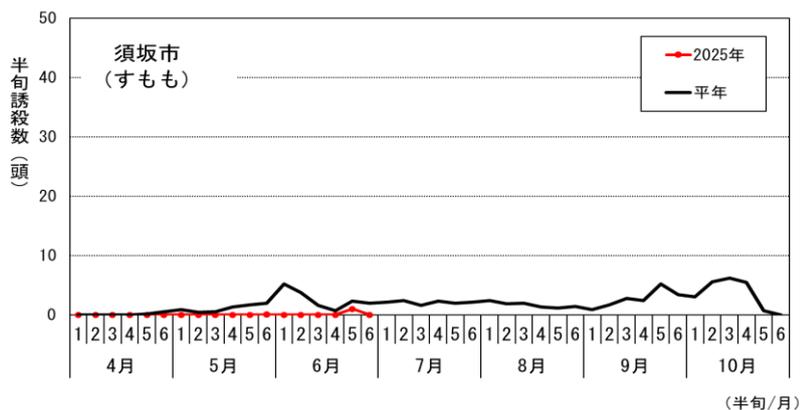
チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

○須坂市（病害虫防除部）



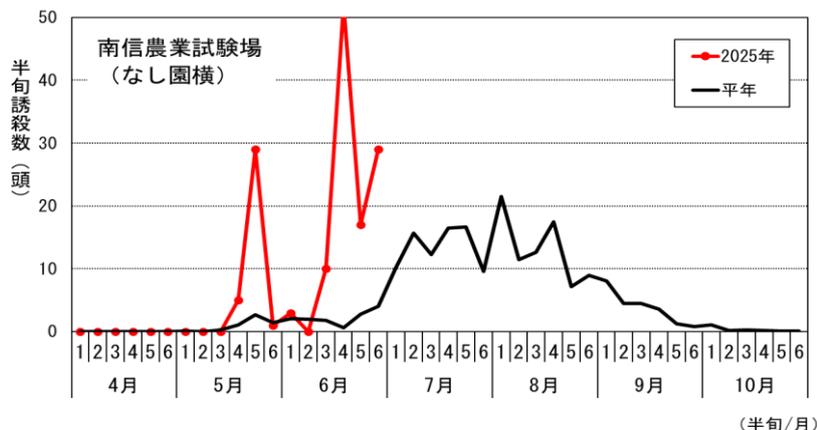
【調査地点】（標高370m すももほ場）

・平年は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

・6月第5半旬に、今年度初めて誘殺されたが、平年より少ない状態が続いている。

○県予察ほ（高森町 南信農業試験場）



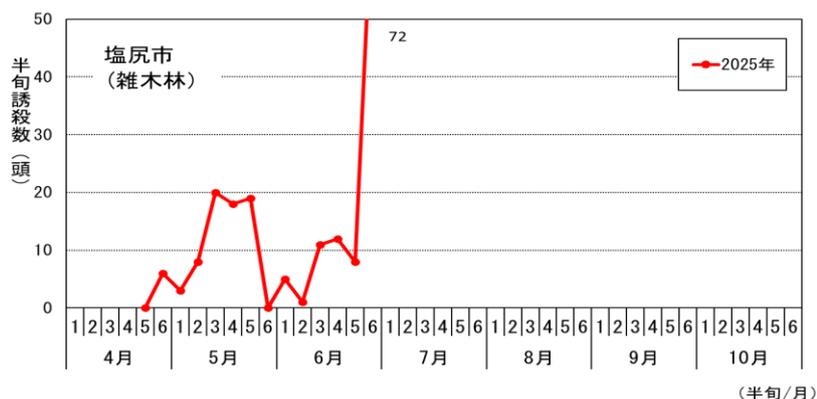
【調査地点】（標高560m 場内）

・平年は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

・5月下旬の誘殺が多く、一度誘殺がなくなったが、6月第3半旬には今年度最高を記録した。
・平年より多いが、誘殺数の波が大きくなっている。

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】（標高560m 雑木林）

・雑木林に設置してある

【コメント】

・年2回発生する場合、第1回の新成虫は7～8月にかけて羽化する。高温のため早まっている可能性もあるが、時期的に若干早い
ため、越冬個体と新個体が混じっている可能性もある。